

先人集
実践例4



櫻井 喜吉

【指導者】 栗原市立一迫小学校 教諭 沼倉 真里絵
 【先人集】 5ページ
 【朗読 DVD】 第2話
 【教師用指導資料】 8ページ (参考)

朝読書や課題として資料を読ませるのも効果的です。

・見返りを求めずに尽力した喜吉の生き方を通して、自分の生き方や生活を見つめ直す時間にしてください。【勤労、公共の精神】

指導のねらい

【発問】セツの姿を「じっと見つめる」喜吉は何を考えていたのでしょうか。

【発問】喜吉は、船迫に診療所をつくり、無償で診察しようと決心しました。何が喜吉の心を動かしたのでしょうか。

・私も、喜吉先生のように自分ができることをして、みんなが喜ぶようなことをしたいです。また、一人の命も無駄にせずに、自分の命も無駄にしないという気持ちもち続けたいです。

児童の感想

導入…事前に資料を読み込ませる。偉人と言われる方のすばらしいところを発表させ、共感させる。

児童の反応①…2,700人の診察。全て無料。船迫に日曜診療所。人力車で通い続けた。働き続けた。命を無駄にしない。亡くなった今も、人々の誇りになっている。

DVD視聴…映像を通して、喜吉の生き方が把握できるようにする。

主な発問1…喜吉がこれまでの自分の仕事、これからの自分の道など「じっと見つめ」ながら考えていたことを挙げさせ、発問2に深まりが出るよう、つなげていく。

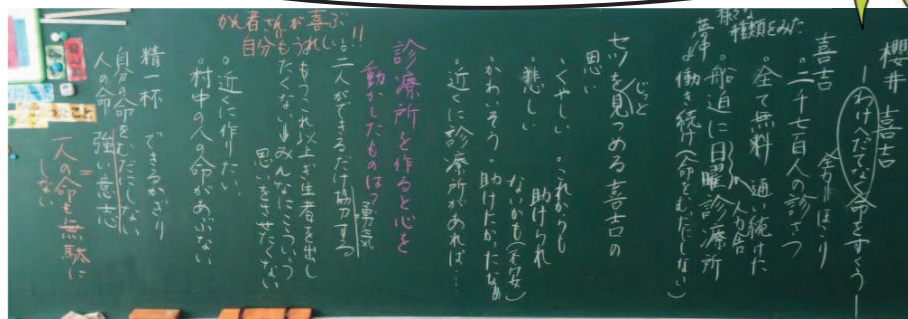
児童の反応②…悔しい。これからも助けられないかもしれない不安。悲しい。かわいそう。助けたかった。近くに診療所があればよいのだ。

主な発問2…多くの葛藤があった中で、それでも診療所を作ろうと決心した喜吉の心をしっかりと考えさせたい。

児童の反応③…協力者がいるから自分も頑張ろう。もうこれ以上犠牲者を出したくない。みんなにこういう思いをさせたくない。患者さんを喜ばせたい。人を助けるのが、自分の成長や喜びにもなる。

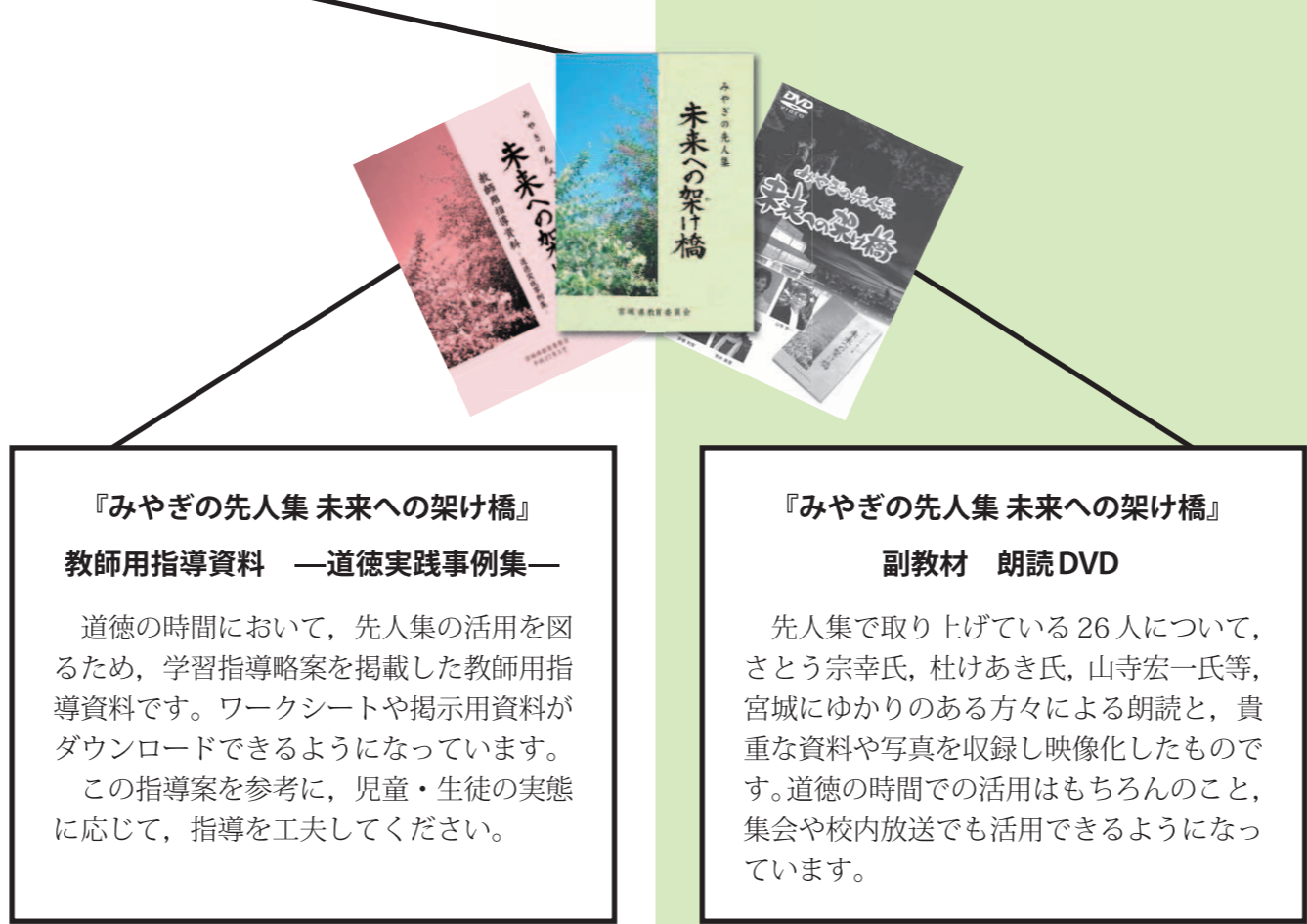
終末…「私たちの道徳」152ページの「公共のために役立つことを」を読んで、自分がなりたい職業を例に、「三方よし」の意味を考える。

まとめでは、「私たちの道徳」を活用して、思いや考えをまとめる方法もあります。



『みやぎの先人集 未来への架け橋』
 江戸時代や明治時代に活躍した、宮城県にゆかりのある人たち30人の生き方をまとめました。どの先人のお話も、人と「かかわる」中で、自分の生き方を「もとめる」こと、そしてよりよい社会のために自分の役割を「はたす」ことに尽力する生き方を私たちに伝えてくれます。道徳の時間はもちろんのこと、社会科の「地域の発展に尽くした先人」の学習、総合的な学習の時間での地域の調べ学習、朝読書等での活用ができます。

片平観平 櫻井喜吉 高山善右衛門 高山開治郎 河村瑞賢 芦東山 慶念 鎌田三之助 佐々木君五郎 二階堂トクヨ 川村孫兵衛重吉 大槻俊齋 内海五郎兵衛 及川甚三郎 フランク安田 秀ノ山雷五郎 落合直文 林子平 青柳文蔵 大槻磐溪 富田鐵之助 一力健治郎 酒井げん 志賀潔 本多光太郎 土井晩翠 伊達政宗 支倉常長 大槻文彦 佐藤清右衛門



【学校配布資料】

- 『みやぎの先人集 未来への架け橋』ダウンロード <http://www.pref.miyagi.jp/site/gikyoku-kk/mkk-senjinsyu.html>
- 『みやぎの先人集 未来への架け橋』 教師用指導資料—道徳実践事例集—
- 『みやぎの先人集 未来への架け橋』 朗読 DVD

視聴サイトへ

先人集 | 検索

【問合せ先】
 宮城県教育庁義務教育課指導班 電話 022-211-3645 FAX 022-211-3691

みやぎの志教育 みやぎの先人集 未来への架け橋 授業実践事例紹介

みやぎの先人の生き方を子どもたちといっしょに考えませんか？



このリーフレットは、『みやぎの先人集 未来への架け橋』 教師用指導資料を参考にしながら朗読DVDを活用した授業実践例を掲載しています。先人集、朗読DVD、指導資料の活用の参考にしてください。

実践例は、「導入場面」と「主な発問と児童の反応」「終末の場面」の様子をダイジェストで掲載しています。

平成28年3月
 宮城県教育委員会



先人集
実践例1

秀ノ山 雷五郎

【指導者】蔵王町立円田小学校 教諭 佐藤 真規子

【先人集】 65ページ

【朗読 DVD】 第16話

【教師用指導資料】64ページ(参考)

発問を絞り込み、考える時間を確保しています。

・横綱になるまでの秀ノ山雷五郎(辰五郎)の生き方を知り、自己の将来の夢の実現に向けて、今後の生き方を見つめさせたい。【希望・勇気・努力】

指導のねらい

【発問】「このまま油絞めをしていてよいのか」と言った源ノ丞の気持ちと、それを聞いた辰五郎の気持ちを考えましょう。

【発問】横綱を目指す辰五郎はどんなことを思いながら稽古をしていたのでしょうか。横綱になってからはどうでしょう。

・秀ノ山雷五郎の生き方を知って、私も自分の夢をあきらめずに、苦しいことも乗り越えて頑張っていきたいと思いました。そして、支えてくれている周りの人に感謝の気持ちをもとうと思いました。

児童の感想



導入・・・「ぼくのゆめわたしのゆめ」を提示した後、DVD視聴により、秀ノ山雷五郎の小さい頃の夢を把握させる。



主な発問1・・・相撲取りになるという辰五郎(雷五郎)の決意と挫折、支えてくれる源ノ丞の存在について問い掛ける。



児童の反応①・・・源ノ丞は、本当は辰五郎にここで仕事をしてほしいけど、きっと辰五郎には夢があると見抜いている。



児童の反応②・・・源ノ丞がいてくれるから、自分も夢をあきらめずにもう一度挑戦してみよう。



主な発問2・・・辰五郎が、横綱になってもなお努力し続けたことに気付かせ、努力し続けた意味を問い掛ける。



児童の反応③・・・絶対に夢をあきらめたくない。

じっくり自分の考えを書かせたり、ペアで考えを交流させたりしています。



児童の反応④・・・支えてくれた源ノ丞のためにも、がんばりたい。



終末・・・教師が自分なりの努力をしたり、それを支えてくれた人がいてくれたりしたことで、今、こうして自分の夢を叶えたという経験談を話す。



先人集
実践例2

内海五郎兵衛(1)

【指導者】石巻市立釜小学校 教諭 千葉 孝洋

【先人集】 53ページ

【朗読 DVD】 第13話

【教師用指導資料】52ページ(参考)

同じ先人を扱ってもねらいや指導内容によって、発問や終末の活動が変わってきます。指導資料を参考に内容項目にあった発問や指導過程を工夫しましょう。

・五郎兵衛の橋を架けるという目標を達成した喜びに共感させるとともに、自分が持っている目標について考えさせていきたい。【希望・勇気・努力】

指導のねらい

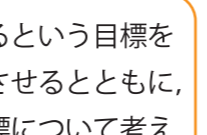
【発問】布団に横たわる父の姿をじっと見つめながら、五郎兵衛はどんなことを思っていたのでしょうか。

【発問】五郎兵衛はどのようなことを考えながら、出来上がった橋を見つめていたのでしょうか。

心の動きを考えるような発問を工夫しています。

・私は今、医者になるという夢を叶えるため、仕事について調べたり勉強したりしています。今後もあきらめませんががんばりたいです。

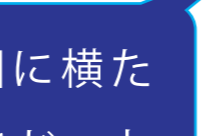
児童の感想



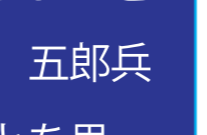
導入・・・DVD視聴により、内海五郎兵衛の生き方を把握させる。



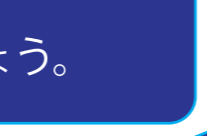
主な発問1・・・父親を失った悲しみや悔しさに共感し、それを乗り越え、自分の思いを固く決心したことに気付かせる。



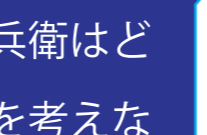
児童の反応①・・・父を助けられなかった。何もできなかった自分が悔しい。こんな思いをしているのは自分だけではないだろう。



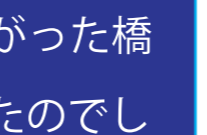
児童の反応②・・・橋があれば父は助かって、自分も悔しい思いをせずにすんだ。風雨に負けない橋を必ず作ろう。



主な発問2・・・様々な困難や苦勞を乗り越え、自分の夢を実現させることができた喜びや充実感を感じ取らせる。



児童の反応③・・・やっと完成した。これでつらい思いをする人も少なくなる。あきらめないでよかった。



児童の反応④・・・これでお父さんの死が報われる。協力してくれたみんな、お父さん、ありがとう。



終末・・・教師が自分の生活を振り返り、目標に向かって努力を続けられた思いを伝える。



先人集
実践例3

内海五郎兵衛(2)

【指導者】大衡村立大衡小学校 教諭 佐藤 秀寿

【先人集】 53ページ

【朗読 DVD】 第13話

【教師用指導資料】52ページ(参考)

・五郎兵衛の橋作りへの強い思いに共感させ、自分も誰かのために役立ちたいという思いを育てたい。【勤勞、公共の精神】

指導のねらい

【発問】五郎兵衛の橋作りにかかる強い気持ちを考えましょう。

【発問】橋が完成したとき、五郎兵衛はどんな気持ちだったでしょう。

児童の考えを評価し、具体的にほめたり、認めたりしています。

・五郎兵衛は、自分のためだけでなく、他の人たちのことも考えて橋を作ったことがすごいと思います。あきらめなければ夢は叶うということが分かりました。私も、誰かの役に立ちたいと思います。

児童の感想



導入・・・内海橋の写真を見せた後、DVDを視聴し、内海五郎兵衛の生き方を把握させる。



主な発問1・・・橋を作ろうと思ったきっかけと、どんな困難にも立ち向かい橋を完成させようとする五郎兵衛の強い気持ちを理解させる。



児童の反応①・・・どんなに苦勞が多くてもあきらめなかったのは、みんなに自分と同じ悲しい思いをしてほしくないと思っていたからだと思う。



児童の反応②・・・橋が完成すれば、みんなの暮らしも楽になると思ったから、最後までがんばれたのだと思う。



主な発問2・・・橋が完成したときの五郎兵衛の気持ちを考え、人々のために行動することのすばらしさを実感させる。



児童の反応③・・・これで自分と同じような悲しい思いをみんなにさせなくてすむと思って、とてもうれしかったと思う。



児童の反応④・・・みんなが喜んでいてのを見て、五郎兵衛もうれしかったと思う。



終末・・・橋が架かるまでの五郎兵衛の思いや行動で、最も心に残ったところを理由を添えて書く。

